

身体環境では何を意味するのかを定義

ここはかなり重要です。

「身体環境」を単に身体の中の環境と定義すると、BIFC の思想が狭くなります。

むしろ、これまで話してきた「生体界面環境」とつなげるなら、

身体環境＝身体そのものではなく、身体が外界と接して存在している環境

と捉えるのがいいと思います。

もう一段、科学的に定義すると

身体環境とは、身体の内外において、生体の状態や機能に影響を与える物理・化学・生物学的条件の総体。

ここには、

- 水分・湿度
- 温度・熱
- イオン・電荷
- pH
- 脂質
- 流動・拡散
- 微生物圧力・摩擦
- 空気などの外部刺激

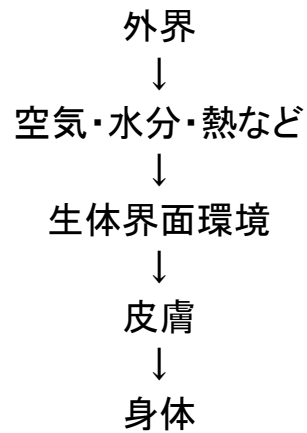
などが含まれます。

そして BIFC が狙うのは、その中でも特に、

「身体の最外層に存在する環境」

です。

つまり、



という構造。

だから「身体環境設計」という言葉にすると、

身体を直接変えるのではなく、身体が存在する環境
を設計・調整する

という意味になります。

ここが「スキンケア」と決定的に違うところです。

そして「心を整える」までつなげるなら

いきなり

身体環境 → 心

ではなく、

- 身体環境
 - 生体界面環境
 - 皮膚が受ける環境入力
 - 身体の状態
 - 心が安定しやすい状態

という階層にした方が科学的にきれいです。

なので、前に出てきた

「心を整える身体環境」を置くなら、

心が安定しやすい身体環境を整える

という表現が非常に相性がいい。

そして BIFC をその技術として位置づけるなら、

BIFC＝身体に直接作用するのではなく、身体が存在する生体界面環境を設計・調整する技術

となる。

この定義まで来ると、「身体環境設計調整技術」という言葉もかなり意味が通ってきます。

「身体を変える技術」ではなく、「身体が安定しやすい環境をつくる技術」だからです。